

2016年7月20日
AIメカテック株式会社
株式会社 日立ハイテクノロジーズ

薄膜ソリューション分野へ本格参入し、協業を強化
ー薄膜加工、プリンティングソリューションにおけるグローバルトップをめざすー

AIメカテック株式会社（代表取締役社長：阿部 猪佐雄／以下、AIメカテック）と株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：宮崎 正啓／以下、日立ハイテク）は、AIメカテックの設立^{*1}に伴い、情報デバイス分野の薄膜ソリューション分野に本格参入し、従来の販売提携関係を発展・拡大いたします。今後、両社の持つ薄膜技術のシステムインテグレートを行い、ワールドワイドに製品の拡販を実施してまいります。

今般市場成長が著しい情報デバイスは、使用用途の拡大に対応し、素材はガラスやシリコンウェーハから、より安価で形状が自在なフィルムへ、製法は高度なデジタルプリンティング技術へと変わりつつあります。例えばモバイル化が進むディスプレイでは、従来のガラスではなくポリイミドフィルムを使用することで、より軽く、薄く、割れない製品が普及し始めています。また、タッチパネルでは、使用フィルム枚数を減らし、一枚のフィルムに複数機能を搭載する技術の開発などが進められています。

こうした技術変革の背景には、機能性薄膜を自在にパターンニング・プリンティングする技術や、成膜表面・空間を精密に環境制御する技術の進展があります。

この成長市場に対し、両社は今般本格的に参入し、AIメカテックの持つ微細プリンティング・高精度貼合技術と、日立ハイテクの取り扱う薄膜環境・表面改質技術、および光・レーザ加工技術を使った製品群を融合させ、最先端の薄膜製造プロセスソリューションを提供します。具体的には、AIメカテックの生産した薄膜インクジェット製造装置に、日立ハイテクが取り扱う精密な環境制御製品を加え、一貫システムとしてフレキシブルデバイスのメーカーに向け拡販してまいります。

このたびの薄膜ソリューション分野への本格参入と協業の強化を通じ、両社は同分野におけるプレゼンスを向上させ、ビジネス規模を拡大させるとともに、情報デバイス分野のさらなる技術発展に貢献してまいります。

*1 AIメカテックの設立経緯は、本リリースの同社に関する会社紹介欄をご覧ください。



インクジェットプリンタ

■日立ハイテックについて

日立ハイテクノロジーズは、2001年、株式会社日立製作所 計測器グループ、同半導体製造装置グループ、エレクトロニクス専門商社である日製産業株式会社が統合し、誕生しました。

「科学・医用システム」「電子デバイスシステム」「産業システム」「先端産業部材」の4つのセグメントで、グローバルな事業展開を行っています（2016年3月期日立ハイテックグループ連結売上収益は6,290億円）。

詳しくは、日立ハイテクノロジーズ HP をご覧ください。 <http://www.hitachi-hightech.com/jp/>

■AI メカテック株式会社について

1990年3月日立テクノエンジニアリング株式会社竜ヶ崎工場操業開始。液晶パネルを世界で初めて「真空中で高精度に貼り合わせる技術確立」し、2005年度には、新機械振興部門で「経済産業大臣賞」を受賞しました。2013年4月株式会社日立製作所インフラシステム社メカトロニクス事業本部設立。フラットパネル関連事業、薄膜形成関連事業、半導体関連事業の3つのセグメントでグローバルに事業展開を行っています。2016年7月株式会社日立製作所より新設分割した新会社としてAIメカテック株式会社を発足させました。経営理念「先進・革新技術で未来を創造」

「Create the Next by Advanced and Innovative technologies」

詳しくは、AIメカテック HP をご覧ください。 <http://www.ai-mech.com>

■お問い合わせ先

株式会社日立ハイテクノロジーズ
産業システム事業統括本部 産業ソリューション営業本部
担当：川野、井上 TEL: 03-3504-5359

AIメカテック株式会社
営業本部 営業部
担当：浜崎、佐々木 TEL: 0297-62-9119

■報道関係お問い合わせ先

株式会社日立ハイテクノロジーズ
CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部
担当：佐野、松本 TEL: 03-3504-3933